

ネオニコチノイドの

生物に与える影響について

赤とんぼ、淡水魚類が激減していることとの関係は？

入場料
無料

未来の子どもたちに持続可能な環境を

第28回

タカミヤ・マリバー 環境保護シンポジウム

とき

2025年
11月8日(土) 9:30~12:00

ところ

北九州市立商工貿易会館

登壇者



麻酔科医・臨床環境医

平 久美子

Taira Kumiko

1957年愛媛県生まれ。神戸大学医学部卒。専門は麻酔科学、臨床環境医学。東京女子医科大学附属足立医療センター非常勤嘱託、ペインクリニック環境医学外来担当。日本麻酔科学会認定医。日本臨床環境医学会理事、同環境アレルギー分科会代表。ネオニコチノイド研究会代表。2001年に環境農薬中毒研究を開始、環境ネオニコチノイド中毒の国際共同研究に携わり、論文多数。「浸透性殺虫剤タスクフォース」公衆衛生ワーキンググループ座長。

主催：公益財団法人 タカミヤ・マリバー環境保護財団 共催：北九州市 後援：北九州商工会議所／福岡経済同友会／毎日新聞社／NPO法人 里山を考える会／北九州ESD協議会／全九州釣ライター協会

お問い合わせ先：(公財)タカミヤ・マリバー環境保護財団事務局 ☎093-661-3194